（別添7）

事業所名 グループホームゲンジョウ

作成日： 平成28年1月26日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣に民家が少なく、地域との交流が難しい環境であり、お互いの行事の交流なども少ない状況である。	運営推進会議の参加メンバーである自治会の方を通じて、現在よりもお互いの行事参加や日常的に関わる機会を増やして行きたい。	地区の清掃行事に定期的に参加し、施設の存在を把握してもらうように働きがけを行う。お互いの行事に参加できるように、自治会の方を通じて広報活動を行う。	10ヶ月
2	52	施設内は狭く歩行訓練はしにくい、施設周辺は坂道で散歩などが厳しい状況であり、歩行訓練や身体機能維持や低下予防に繋がる運動などの取り組みが不十分な状態である。	施設内で行える、下肢筋力の維持や低下予防を目的とした運動や、生活の中で行えるリハビリを行う。継続して取り組むことで、転倒の予防に繋がり、生活の質の向上を目指す。	取り掛かりとして、全員で行えるような、下肢筋力の維持、低下予防を目的とした運動やリハビリを日常の生活の中で継続的に行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。